

令和4年度 住吉区運営方針

(区長:平澤 宏子)

◆計画

区の目標（何をめざすのか）

「つながり・見守り・支えあい」を大切にした安全・安心に暮らせる住みよいまち

区の使命（どのような役割を担うのか）

地域のさまざまな活動を支援し「つながり・見守り・支えあい」づくりのコーディネーター役を担うとともに、地域の実情や特性に応じた施策・事業を推進する。

令和4年度 区運営の基本的な考え方（区長の方針）

- ・安全安心で、だれもが心地よく暮らせるまちの実現に向けて、「防災」「地域福祉」「教育・子育て」「魅力あるまちづくり」「地域のつながりづくり」に重点的に取り組む。
- ・市民サービスの質の向上に向けて、行政運営の効率化及びICTの活用を促進する。

重点的に取り組む主な経営課題（様式2）

経営課題の概要	主な戦略
<b>【経営課題1】安全で安心して暮らせるまちづくり</b> ・災害時の要援護者支援計画の作成を進める必要がある。 ・区民の防災意識の向上、特に大和川氾濫等の水害に備えて浸水想定 の周知を図る必要がある。	・災害時の支援と日常的な見守りを一体として対応する災害時要援 護者支援体制（地域見守り支援システム）の充実 ・水害時の避難行動をはじめとする防災意識向上のための周知・啓 発

主な具体的取組（4年度予算額）

- 【1-1-1 災害時要援護者（高齢者、障がい者など）支援】（4年度予算額 12,390千円）
- 【1-1-2 地域防災力の向上】（4年度予算額 8,325千円）

経営課題の概要	主な戦略
<b>【経営課題2】高齢者、障がい者等だれもが心地よく暮らせるまち                      づくり</b> ・地域からの孤立化や複合的な課題を抱える要援護者に必要な支援 を行うため、地域と行政が一体となって地域の社会資源のネット ワーク強化を図る必要がある。	・地域の人たちで顔の見える関係・助け合う関係づくりの推進 ・身近な地域での相談体制づくりや専門職間のネットワークづくり の推進 ・適度な運動や認知症予防活動による要介護状態の予防及び健康寿 命の延伸

主な具体的取組（4年度予算額）

- 【2-1-1 みんなが支え合う豊かなコミュニティづくり】（4年度予算額 37,182千円）
- 【2-1-2 支援が必要な人々へのつながりづくり】（4年度予算額 - 千円）
- 【2-2-1 介護予防】（4年度予算額 331千円）

経営課題の概要	主な戦略
<b>【経営課題3】安心して子育てができ地域の実情にあった教育が展                      開されるまちづくり</b> ・相談・支援ニーズに対応し、子育てしやすい環境づくりを進める 必要がある。 ・こどもと子育て世帯に、学校・区役所・地域が連携して学びの支 援や福祉的観点からの支援を行う必要がある。	・妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談・サポートの実施 ・学校・行政・地域の連携のもと、専門的知識を有する者・事業者 等によるこどもとその家庭への継続した支援の実施 ・住吉区の実情に応じたこどもたちの学びへの支援

主な具体的取組（4年度予算額）

- 【3-1-2 「はぐあっぷ（住吉区子育て世代包括支援センター）」の機能強化】（4年度予算額 11,147千円）
- 【3-1-3 地域の拠点づくりと潜在的リスクへのアプローチ】（4年度予算額 13,619千円）
- 【3-2-1 こどもたちの学びへの支援】（4年度予算額 5,307千円）
- 【3-2-3 児童・生徒等の支援】（4年度予算額 49,737千円）

経営課題の概要	主な戦略
<b>【経営課題4】歴史・文化を活かした魅力あるまちづくり</b> ・若い世代に住吉区の歴史・文化を伝承していく必要がある。 ・特定空家等の発生予防や利活用を進めていく必要がある。	・歴史、文化の積極的な情報発信による住吉の魅力のPR ・専門家団体等との連携による空家等の発生予防・利活用促進及び 特定空家等の是正の推進

主な具体的取組（４年度予算額）	
【4-1-1 歴史的資産の活用】（４予算額 2,111千円） 【4-2-1 空家所有者等への意識啓発】（４予算額 7千円） 【4-2-2 特定空家等の是正】（４予算額 139千円）	
経営課題の概要	主な戦略
<b>【経営課題５】自律的に地域活動が展開される活力あるまちづくり</b> ・近所に住む人同士のつながりづくりを進めるとともに、気軽に地域活動に参加できる場・機会を創出する必要がある。 ・地域課題を自律的に解決できるよう、地域の実情に応じた支援を行っていく必要がある。	・防災訓練などの機会をとらえた、地域のつながりづくりの促進 ・地域活動への参加のきっかけとなる事業の実施 ・地域の特性や課題を把握したうえで、地域実情に応じたきめ細かな支援
主な具体的取組（４年度予算額）	
【5-1-1 住民同士のつながりの場やきっかけづくり】（４予算額 8,095千円） 【5-2-1 地域の実態に応じたきめ細やかな支援】（４予算額 53,614千円）	
経営課題の概要	主な戦略
<b>【経営課題６】区政改革の推進</b> ・区民ニーズや意見等の区政反映に関する情報発信の強化が必要である。 ・市民サービスの質の向上に向けて、窓口接遇の向上及び業務の効率化を推進する必要がある。	・区政会議等各種専門会議の状況や区民意見等の区政反映に関する定期的な情報発信 ・接遇研修及び接遇状況の自己点検の実施 ・区横断体制による業務改善の推進とICT活用の検討・促進
主な具体的取組（４年度予算額）	
【6-1-1 区民ニーズ・意見の区政反映】（４予算額 3,030千円） 【6-2-1 広報紙、ホームページ、SNSの充実】（４予算額 25,777千円） 【6-3-1 窓口等におけるサービスの向上】（４予算額 736千円）	

## ◆自己評価

### 1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

<b>【経営課題１】</b> ・災害時要援護者の個別避難計画である「個別支援プラン」は、町会に働きかけるとともに説明会に民生委員も参加してもらって作成を進めた。総合防災訓練では3年ぶりに一般住民も参加する形で開催し区民の防災意識の向上を図るとともに、女性の視点を踏まえた避難所運営にも取り組んだ。 ・防犯に関し、移動式防犯カメラを地域や学校等から依頼のあった場所に設置して犯罪抑止に取り組んだ。今後、区政推進基金を活用して台数を増やし、区民ニーズに対応していきたい。
<b>【経営課題２】</b> ・地域の見守り活動や小地域福祉計画作成の支援を行い、個別訪問が制限される中で身近な会館などで地域よろず相談を実施した。また、一地域で小地域福祉計画案を作成することができた。今後、活動に制限がかかった地域の取組再開を支援していく必要がある。 ・特定健診受診率は国に比べ低い傾向にあるため、引き続き、健康づくりのサポートや啓発、健診の受診勧奨を行う。
<b>【経営課題３】</b> ・子育て支援に関し、専門職と地域の連携による子育て世帯の身近な相談の場の確保や、行政と小児科医との顔の見える関係づくりを推進した。子育てを周りに相談できない保護者等が増えており、相談体制の充実及びその周知が必要である。また、区独自設置の1名を含むSSW（スクールソーシャルワーカー）を拠点校に配置し児童・生徒の支援を行った。次年度にはヤングケアラー支援に向けて増配置されるので、いっそう効果的な運用に努めたい。
<b>【経営課題４】</b> ・住吉区の歴史・文化についてSNSやインターネットでの情報発信を行うとともに、次代を担うこどもたちに地域の歴史や文化を体験学習するような機会の創出等の工夫が必要である。 ・空家対策について、特定空家等の発見・是正は地域団体や専門家団体と協力しながら進めており、今後は特定空家とならないよう予防的啓発や物件の活用に取り組んでいく必要がある。
<b>【経営課題５】</b> ・身近な地域での行事等への参加をきっかけに地域のつながりが広がるよう、防災を切り口とした交流の機会・場や幅広い世代が参加する区民まつりなどの行事を開催し、地域のつながりが途切れないよう取組を進めた。一方で、地域活動がいつ実施されているかわからないとする区民も少なからず存在しており、普段地域との接点が少ない区民が参加するような機会・場の設定に加えて地域活動の情報発信の強化が必要である。
<b>【経営課題６】</b> ・区政運営への住民参画の推進に向けて、昨年度より、区政会議をはじめとしてさまざまな場で把握した区民の意見・ニーズを迅速に区政に反映するとともに、区政会議の状況とあわせて広報紙やホームページで速やかに発信した。 ・行政サービスの向上に向けて、全職員を対象とした接遇研修の実施や行政オンラインシステムによる来庁前予約の導入などに取り組んだ。今後、オンライン手続きの認知度の向上を図りオンライン手続きの活用を促進していく。

### 解決すべき課題と今後の改善方向

少子高齢化や人口減少社会の到来などにより、社会的孤立や地域活動の担い手の減少といった課題への対応が求められている。区政会議をはじめ様々な機会でも区民ニーズを把握し経営課題に取り組むとともに、地域の活性化につながる取組を進めていく。